

# ハ乙女

## 成人おめでとろございます



明日を担う若人わこうととなる今日晴れて

成人式の門出祝いぬ

松田澄子

### ご挨拶

南砺市議会議員 才川 昌一

あけましておめでとございます。昨年は、たくさんの皆様にご指導ご鞭撻を戴きありがとうございました。さして、昨年を表す言葉に『変』が選ばれたようですが、まれにみる激動の年だったように感じます。

無責任な総理大臣の政権の投げ出しや、関係者の理解と納得が得られないままスタートした後期高齢者医療制度、食品偽装による食べ物への不安の連鎖、アメリカ発の金融危機に始まった世界的な規模の経済危機による雇用不安、まだまだ解決のつかない年金問題など、なんだか日本が壊れていくのではと心配されます。

今こそ変えていくべきもの、そして変えてはいけないものをつかりと精査し、大自然の摂理にそむくことなく、誠実にあるうとする気持ちを大切にしながら、新たな社会システムの構築の好機として、良い変化を求めていきたいと考えます。

力強く頑張つて良い年になりますよう願うと共に、皆様方の今年一年の健康とご多幸をご祈念申しあげます。

# 丑年の新年を迎えて



ぼくのゆめ

前田 和弥  
(平成九年生)



ぼくは、今年で12才になります。スポーツが大好きです。今は、サッカーをやっています。上手なプレーが出来るよう、一生けん命練習に取り組みたいです。そして、試合では、練習の成果が出るようにがんばりたいです。

うし年を迎えて

箭原 雅樹  
(昭和60年生)



18歳のときに今の仕事について、もう五年がたち、今年で二十四歳になりました。自分が入社したときの先輩と同じ年になりました。そのときの先輩は頼れる存在で、自分の仕事にも自信をもっていて、スゴイ人だな、自分もそんな風にな

れたらいいなあと、思っていたのですが……、今の自分と比べると、とてもほど遠く感じます。また、目前にある課題をこなすだけが精一杯で、自分がどう見えるかは、あまり考えていなかったように思います。この三度目の干支を節目に、技術、知識を向上させて、仕事に対して自信を持てるように、そして、周りから信頼されるような人間になれるように頑張っていきたいと思えます。

心機一転

亀田 明子  
(昭和48年生)



今年で四度目の丑年を迎えました。これまで、三人の子供にも恵まれ、周りの方や家族に助けていただきながら、日々を過ごすことができました。また、子供の成長を通し、保育園や児童クラブ、母親クラブ等いろいろな方との出会いがあり、新しい経験があり、たくさん良い刺激をいただきました。

ました。

もう少しで、人生の折り返し地点になります。この節目を機に自分を見つめなおし、心機一転、いろんな事にチャレンジ精神を持って取り組んでいきたいと思えます。

日々感謝

武田 秀和  
(昭和36年生)



時の経つのは早いもので、あれよあれよという間に四回目の丑年をなんとか無事に迎えることができました。暗いニュースがつづき、世知辛さが増している今日このごろですが、思い返せばいろいろと皆様に支えられて生きてこられたんだな、と日々感謝の毎日であります。まもなく五十路に向かい体力の衰えは隠せないものの、気力は充実し、空回りすることも少しばしば。あれっ？(まだまだ若いとおもっていることが玉にキズ)。仕事に、太鼓に、その他やりたいことがたくさんあって、あれやこれやと思案ばかりしている私であります。今後ともみなさんヨロシクお願い申し上げます。

一歩一歩

富田 智世  
(昭和36年生)



今年も娘の成人も重なり、ひとときわ節目を感じる年となりました。無我夢中でここまで来ましたが、考えてみずともう人生の半ば以上を過ぎていきます。縁あってこの地域へ嫁ぎ、家族をはじめ多くの方と知り合っているんなことを教えていただき助けられてこそ、ここまでこれたのだと改めて思うこの頃です。そして、「温故知新」という言葉が最近よく頭に浮かびます。社会の動きが激しく、生活の様相が変わっても、生きることに根っこは不変であり普遍でしょう。これからも身近な人を大切に、目の前のものごと誠実に取り組んでいくことを第一にして、「うし」のように一歩一歩歩んでいきたいと思えます。

うし年を迎えて

山本 彰  
(昭和24年生)

今年で六回目の牛年を迎えました。ということは、還暦



を迎えたという事でございまして、いやはや本当に長いよう

いようで短い60年でございました。その人生も振り返ってみますと、殆どが楽しい思い出だったように想われます。当時はつらかった事、くやしかった事など、それらが本当に楽しく話し合える年になったのだとつくづく思うのです。そんな私の特筆する事は入院を要す病氣、ケガが全くなく今日に至っていることかと感謝せずにおられません。これも家族はじめ近所、地域の皆さんの温かい支えがあったなればこそと思えます。此の還暦を機に社会人の制服を脱ぎ、世の中の時間の流れを感じられる生活へチェンジしたいと思っている処です。豊かな地域作りに微力ながら参加し、充実した「余生」を設計し、悔いのない人生でありたいと念じて止みません。

有意義に

中村 外子  
(昭和24年生)

還暦II定年。一昨年ぐらいからその年が早く来て欲しいと思う気持ちと、まだ来て欲しいくない気持ちとが有り、と



でも複雑。今年はその年を迎えまして。

これは、家と会社を往復する忙しい毎日。家族に助けられ、地域の多くの方々に支えて頂いて今日がある事に感謝しています。

子供達も独立して親の役割も一段落。これからは今までに出来なかつた事にチャレンジし有意義に、そしてなによりも健康で過して行きたいと思っています。

いのち重ねて

山崎喜久男 (昭和12年生)



生を授け七回目の丑年を迎え、改めていのちの尊さをお陰様と気付かせて頂くことです。

此の世に生を受けると頼んだこともなく不思議な御縁を頂き、人間として生を受け、多くの人の支えや願いにより今日を迎えさせていることに改めて気付かせていただき御礼を申し上げます。

最近人が人を殺めることが

毎日のように私達の近くでも起きています。が、私は日頃から「いのち」と書くことは心のこと。「生命」と書くことは、血の出るいのちではないかと使い分けています。今

程「いのち」が粗末にされていて「生命」や物の大切さを忘れてしまっている時代ではないでしょうか、考えたいものです。

頂いた「いのち」の大切さに気付き、健康で世の中のお役にたつことが出来るように念ずることであります。

いのちは丸く

岩崎保子 (昭和12年生)



今年で七回目のうし年を迎えました。以前

に医者から「貴女は普通の人より十年老化しているようだ」と言われた事もありましたが、お陰様で今日迄健康で長生き出来た事を嬉しく思います。

年を重ねた方々が「少し前のことは思い出せないけど、昔の事ははつきりと蘇える」と聞き、疑問に思っていました。が、今では私も小学校の頃の一年生から高等科迄の人達と一緒に各部所を掃除し、色々々と教わったり泣いたりし

たこと等懐かしく昔を思い出しています。

お陰様で元気で大勢の人達に接し、ご指導や楽しい思い出等たくさん戴き本当に幸せに思っています。

さて、最近の私達を取りまく世情の変化は何とも言いようのない不安で一杯ですが、加齢で背は丸くなるのは仕方ありませんが、せめて心は丸く、皆さんに感謝の気持ちでだれにでも喜ばれることができたらと思っています。

感謝の気持ちで

須川ユキ子 (大正14年生)



選挙ある都度思いついて選挙戦争。亡き主人

の町議選の折には、地区の皆様方の温かいご支援、心の籠った一票の積み重ねで、四期も協力戴いたことが昨日のように思い出されます。私は、少しずつでも感謝の気持ちをボランティア活動で、ゲームやクイズ、笑い転げる遊び等、地区のお年寄り、ふれあいサロンのお世話の皆さんにお返ししたいと思っています。また、楽しみながらデイサービス利用の方やお友達との出会いも大事に長く続けたいと思

います。皆さんの優しさが光って、私も薔薇色です。

新春懐古

前川正夫 (大正14年生)



新しい年の幕があがって丑年。無病息災家

内安全と念じていると、つい浮ぶのが村の逸話である。大晦日になると鶏鳴を聞こうと八乙女山の鶏塚へ大勢のぼったという。

鶏塚に黄金の雌雄の鶏が埋められていて、除夜の鐘が鳴ると「コケコッコ」と三声がきこえる。この鶏鳴に一同はわれに返り、今年も家内安全お金が貯まると、喜んで帰途についたという。希いは昔と変っていない。

村には、紳如上人殿城寺来錫、東城寺城史跡、止観寺城史跡(城主 武部佐渡守)高瀬神社に纏わるストーリー。近年明治神宮造営で戸板麻畑の杉献木、吹上鉢泉、奈良東大寺の長老清水公照夫妻同管長筒井寛秀夫妻が馬かけ場から香を焚き、華厳経を称え武田宗俊墓前礼拝。井波初百歳戸板朝倉小三郎。千谷川辺に、百歳以上七人等。この地区には自然の恩恵が溢れてい

る。伝統文化を尊びこの住みよく美しい自然を確り護りたものである。

生かされている幸福

山本幸吉 (大正2年生)



九回目の丑年元旦、五時すぎ、御神酒を持

って氏神様、お寺へお詣りし、すがすがしい新年を迎えました。

九十六年間を過した中で最大の悲劇は、太平洋戦争です。不沈空母「大鳳」の航空甲板員として乗艦し、マリアナ海戦で撃沈、多くの同輩が目の前で死地獄、自分は神、仏、護衛艦に助けられ幸いに日本で治療、終戦後五く六年間も続き傷痍軍人手当申請を勧められたが生かされているだけでも幸福であり辞退。神、仏に感謝して舞鶴での慰霊祭には参加していたが、十年前頃より城端の同輩の息子さんが代参、報告に来てくださる心配りに感謝しうれしく思います。

此々二く三年で耳が大変遠くなりましたが、これで、あたりまえ、生かされている一日一日に感謝をして……。



第31回

# 八乙女文化祭



十一月二十三日(日)、地区文化活動の振興を図る第三十一回八乙女文化祭が多数の住民の参加により盛大に開催されました。



当日は、朝からあいにくの天候で模擬店や催し物が館内及び体育館で開催されました。特設ステージでは「防災講演会」が井波庄川消防署々長よりあり、講演後ステージ発表が可愛い保育園児らの発表に始まり、各地



区児童が一ヶ月余り一生懸命練習した出し物や、各種グループの踊りや大正琴、ピアノ演奏、合唱、八乙女龍神のよさこい等が発表され、来場者一同見入っていました。また館内では、各種団体の

活動報告や作品展示並びに農産物展示などが行なわれました。そして、壮年部、成年部、婦人会、たんぼ学級等の皆さんの模擬店コーナーがにぎわっていました。寒い一日でしたが、皆様の協力により、盛大な文化祭となりました。

(児童クラブ 須川武志)

## 花壇づくりとクリスマス会

十二月十四日、「児童クラブ・母親クラブ」「井波花とみどりの少年団」で、花壇づくりとクリスマス会が行われました。この日は小雨が降り、寒い日ではありましたが、公民館の前で

「花と緑の銀行」の方々と一緒にチューリップの球根を植えました。今から春になって花が咲くのが楽しみです。クリスマス会は、花壇づくりの終わった子供から大きなツリーに飾り付けをしました。クリスマス曲が流れる中、二人のサンタクロースが登場し、一人一人プレゼントをもらいました。その後、ケーキを食べ、ビンゴゲームをしました。ハラハラドキドキしている子供達がとても微笑ましく印象的でした。一足早いクリスマス会を楽しみました。

(母親クラブ 徳成尚子)



### 南山見地区

## 防災講演会及び防災訓練を実施して

たと思えます。また、その後十一月三十日(日)には、冷たい秋雨の降り頻る中でありましたが全地区民の協力で万一の大地震に備え、人命の安全確認を第一として防災訓練

地区の町内会、及びマーシ園の協力を得ながら数回の話し合いを重ね、先ず自然災害を知ることとを目的に、去る十一月二十三日(日)地区八乙女文化祭の折、地区の皆さんにお寄りを願う「防災雑感」と題し、砺波広域圏井波庄川消防署長 吉岡敏明様の講演会を開催いたしました。



今回は特に地震について講演を賜り自然災害の怖さを再認識して頂くを実施いたしました。避難経路や安否確認の手順などを調べながら全戸に配布した防災袋を背負い第一次避難所(集落公民館など)に集合、地区民の安否を確認し、その後、本部の指定避難所(南山見公民館)に約四〇〇名が終結、副署長の講評で地区の防災訓練を終えさせていただきました。また、家庭用の消火器で初期消火の講習会も実施いた

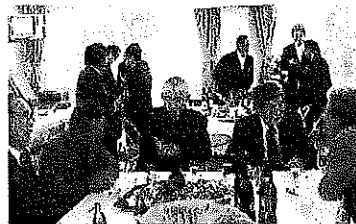


平成二十年度南砺市の「がんばる自治振興会応援補助事業」として、南山見地区では、安全・安心な地域づくりをめざし、地区住民が防災意識の高揚を図ることを目的とした防災事業の三年計画を立案、申請し許可をいただき初年度の計画を実行することになりました。

しました。次年度は、比較的民家が連たんしていると思われる院瀬見地区を中心として実施する予定です。また、防災用品の整備など検討しているところであり、安全・安心な地域づくりをめざし、今後の計画策定・充実などに、地区のみなさんの更なるご協力とご理解をお願い申し上げます。

(南山見自治振興会長 澤田武夫)

## 新年の集い



毎年恒例となつて「新年の集い」が一月四日午後三時より南山見地区民約九十名

余が相集い開催されました。綿貫代議士は明日から通常国会が開幕との事で帰京され、北田後援会長、才川市議をお招きし、自治振興会長のあいさつ、永井行政センター長の乾杯の音頭で祝宴が始まり、和気あいあい親睦を深め、



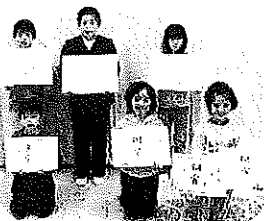
楽しいひとときを過しました。昨年は市内で七・一八豪雨災害が発生し、城端・福光地区では大きな爪跡を残し一日も早い復旧を願うばかりです。

井波地域行政課題も保育園・高校の統廃合、病院問題等山積しているようです。南山見地区住民が団結して取り組む重要な年になると感じ努力していきたいと思

(篠原正三)



平成20年11月23日、24日に金沢市アートシアターにおいて現代学生読書大会が開催され、少年研修館書道教室からも出品致しました。成績は次のとおりです。



- |      |        |
|------|--------|
| 書学会賞 | 篠原風斗さん |
| 秀作賞  | 前田真唯さん |
| 特選賞  | 山田太一さん |
| 金賞   | 山田理人さん |
| 銅賞   | 箭原希美さん |
| " "  | 森 柚葉さん |
| " "  | 森 拓馬さん |

尚、十一月十五日開催の富山県子どもフェスティバルにも参加、出品致しました。(事務局)

### 第10回南山見地区

## スーパーキックベースボール大会

10月27日~28日に恒例のスーパーキックベースボール大会が町内対抗で開催されました。成績は次の通りです。

- 1位 沖Aチーム
- 2位 沖Bチーム

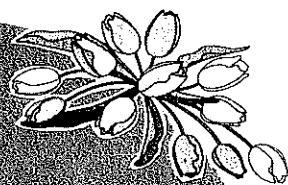
(事務局)







新成人



# 成人をお祝いするのみなさん おめでとうになります



井波地域成人式は、一月十一日(日)に井波総合文化センターにおいて開催されました。浅田教育長はじめ大勢のご来賓や家族にもご来場いただき、また、予報は雪となっていました。天候に恵まれてすばらしい成人式でした。

式の後、新成人のみなさんの企画、運営で「成人者の

集い」が、当地区の澤田亮二さんの総司会で始まりました。小学校、中学校の恩師の先生方にも参加していただき、スクリーンに映される学校の思い出に大きな歓声もあり、それぞれの想いがあつたようです。先生方より、お祝いのお言葉をいただき、心に残る成人式でした。今年も公民館よりささやかな記念品を呈呈致しました。(事務局)

**行事予定**

2月12日(木)午後7時30分より  
平成20年度「公民講座」  
講師 南砺中央病院院長 南砺医療局管理者  
倉知 圓先生

2月22日(日)午前9時より  
第20回 南山見地区「三世代交流の集い」

一、金 参万円也  
(備品費として)

南山見婦人会様  
ありがとうございました。

南山見人口	
男	577人
女	593人
計	1,170人
平成20年12月31日現在	

新しい年を迎え、皆さんそれぞれの想いを描いておられることと思います。

このところ、世間では暗いニュースばかりが聞こえてきます。

なんだか世の中が私達の想いと違った方向に進んでいっているような気がします。

将来、この南山見地区を担っていく子供達が楽しく安心して暮らしていけるようにするのが、私達大人の役割だと思えます。

そのためにも地域住民が力を合わせ、助け合い、かわりあっていく事が大切なのではないでしょうか。これからもこの公民館活動を通じて、少しでも参加していただけたらと思います。

Y子

## 編集後記

